

2025年度

宮城学院女子大学大学院
募 集 要 項

人文科学研究科
健康栄養学研究科



宮城学院女子大学

2025 年度 宮城学院女子大学大学院 募集要項

人文科学研究科・健康栄養学研究科

— 目次 —

アドミッション・ポリシー	1~2
募集専攻及び入学定員／出願資格／出願期間及び出願書類送付先	3
出願手続／入学検定料	4
試験内容及び試験時間	5
試験日時／試験場／合格発表／合格通知／入学手続	6
入学金及び授業料等／受験時特別配慮について／その他	7
検定料払い込み方法	8
E-支払いサービス利用方法	9
長期履修学生制度について	10
専攻内容	11~21
宮城学院 建学の精神と沿革	22

◆ 宮城学院女子大学 共生のための多様性宣言 ◆

宮城学院女子大学は、本学に集うすべての学生の多様性と尊厳・人権を尊重します。年齢、信条、障害、エスニシティ、性的指向・性自認など、個人の特性や文化的背景を尊重し、そのための環境づくりに最善を尽くします。

宮城学院女子大学で、上記宣言に基づき、トランス女性（戸籍上男性であっても性自認が女性である方）の受け入れを行っています。本大学院においても、2023 年度よりトランス女性の受け入れを開始しました。

受験時に配慮が必要な場合には、特別配慮申請書を用いて、事前に相談ください。

また、入学後に合理的配慮が必要な場合には、入学前（3 月後半）に学生相談・特別支援センターに事前相談をすることができます。

受験生の皆様へ（個人情報保護について）

入学志願票および出願書類に記載された個人情報は、入学試験、募集活動に関する個人を特定しない統計の基礎データ、本学からのご連絡、入学後の学籍管理等教育運営に使用します。なお、個人情報を使用する際は取り扱いに十分注意し、目的以外には一切使用いたしません。

◆ アドミッション・ポリシー ◆

人文科学研究科

<英語・英米文学専攻>

英語・英米文学専攻は、次のような能力、意欲、目的意識などをもつ者を広く受け入れます。

能力	各専攻の専門領域についての基礎的な知識および能力を有する者。
	英語学、英米文学、英米文化、英語教育などに関する基礎的専門知識を有している者。
意欲	各専攻の専門領域について強い関心を持ち、広範な人文科学的諸領域との総合的・有機的連関のなかで捉える視点と能力を身につけようとする者。
	専門領域における研究テーマをクリティカルな視点から追求し、新しい考え方を積極的に取り入れ、粘り強く取り組む意欲のある者。
目的意識	①各専攻の専門分野に関する高度な専門知識を修得し、広範な人文科学的諸領域との総合的・有機的連関のなかで捉える視点を養うことを目指している。
	②各専攻の専門領域において、広範な人文科学的諸領域との総合的・有機的連関のなかで捉える視点と高度な専門知識を有する専門職として、知見を発揮することを目指している。
	③各専攻の専門領域に関する研究課題について、学術的に価値のある知見に到達し、それをもって社会に貢献することを目指している。 <ul style="list-style-type: none"> ・英語学、英米文学、英米文化、英語教育に関する高度な知識の修得を目指している。 ・大学院で修得したことを、社会のさまざまな領域において積極的に還元することを目指している。 ・英語学、英米文学、英米文化、英語教育の領域で、研究者、専門家になるための基礎力を身につけることを目指している。 ・英語教育に関心があり、中学校教諭・高等学校教諭専修免許状（英語）の取得を目指している。

<日本語・日本文学専攻>

日本語・日本文学専攻は、次のような能力、意欲、目的意識などをもつ者を広く受け入れます。

能力	各専攻の専門領域についての基礎的な知識および能力を有する者。
	日本語学、日本文学、日本文化学または日本語教育学について、基礎的な知識および研究能力を有する者。
意欲	各専攻の専門領域について強い関心を持ち、広範な人文科学的諸領域との総合的・有機的連関のなかで捉える視点と能力を身につけようとする者。
	日本語学、日本文学、日本文化学または日本語教育学について強い関心を持ち、幅広い視野と専門的な知識を修得しようとする者。
目的意識	①各専攻の専門分野に関する高度な専門知識を修得し、広範な人文科学的諸領域との総合的・有機的連関のなかで捉える視点を養うことを目指している。
	②各専攻の専門領域において、広範な人文科学的諸領域との総合的・有機的連関のなかで捉える視点と高度な専門知識を有する専門職として、知見を発揮することを目指している。
	③各専攻の専門領域に関する研究課題について、学術的に価値のある知見に到達し、それをもって社会に貢献することを目指している。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本語学、日本文学、日本文化学または日本語教育学において、幅広い視野と専門的な知識を修得し、社会に向けて発信、表現することを目指している。 ・日本語学、日本文学、日本文化学または日本語教育学に関する専門的な研究課題について、学術的に価値のある知見に到達し、斯学に貢献することを目指している。 ・日本語学、日本文学、日本文化学または日本語教育学における専門的職業人として、高度な語学・文学・文化的知識に基づいて社会に貢献することを目指している。

<人間文化学専攻>

人間文化学専攻は、次のような能力、意欲、目的意識などをもつ者を広く受け入れます。

能力	各専攻の専門領域についての基礎的な知識および能力を有する者。
	人間系、歴史系、社会系の各研究分野のいずれかにおける基礎知識及び技能を修得している者。
意欲	各専攻の専門領域について強い関心を持ち、広範な人文科学的諸領域との総合的・有機的連関のなかで捉える視点と能力を身につけようとする者。
	人間系、歴史系、社会系の各研究分野に強い関心を持ち、より専門的視点から深く、また、領域横断的に考究しようとする意欲がある者。
目的意識	①各専攻の専門分野に関する高度な専門知識を修得し、広範な人文科学的諸領域との総合的・有機的連関のなかで捉える視点を養うことを目指している。
	②各専攻の専門領域において、広範な人文科学的諸領域との総合的・有機的連関のなかで捉える視点と高度な専門知識を有する専門職として、知見を発揮することを目指す。
	③各専攻の専門領域に関する研究課題について、学術的に価値のある知見に到達し、それをもって社会に貢献することを目指す。
	<ul style="list-style-type: none"> 人間文化学全般に関する幅広い視野と専門的な知識を獲得し、それらを包括的な人間理解に活用することを目指す。 人間文化学全般に関する専門的な研究課題について、学術的に価値のある知見を獲得し、公表することを目指す。 人間文化学全般における専門的職業人として必要な知識・技能・意識を獲得し、それらを活用して社会に貢献することを目指す。

<生活文化デザイン学専攻>

生活文化デザイン学専攻は、次のような能力、意欲、目的意識などをもつ者を広く受け入れます。

能力	各専攻の専門領域についての基礎的な知識および能力を有する者。
	服飾、家族社会学、建築学など、生活文化に関わる専門領域についての基礎的な知識およびデザイン能力を有する者。
意欲	各専攻の専門領域について強い関心を持ち、広範な人文科学的諸領域との総合的・有機的連関のなかで捉える視点と能力を身につけようとする者。
	服飾、家族社会学、建築学など、生活文化に関わる専門領域について強い関心を持ち、広範な生活文化諸領域との総合的・有機的連関のなかで捉える視点と能力を身につけようとする者。
目的意識	①各専攻の専門分野に関する高度な専門知識を修得し、広範な人文科学的諸領域との総合的・有機的連関のなかで捉える視点を養うことを目指している。
	②各専攻の専門領域において、広範な人文科学的諸領域との総合的・有機的連関のなかで捉える視点と高度な専門知識を有する専門職として、知見を発揮することを目指す。
	③各専攻の専門領域に関する研究課題について、学術的に価値のある知見に到達し、それをもって社会に貢献することを目指す。
	<ul style="list-style-type: none"> 服飾、家族社会学、建築学に関する高度な専門知識を修得し、広範な生活文化諸領域との総合的・有機的連関のなかで物事を捉える視点を養うことを目指している。 服飾、家族社会学、建築学など、生活文化に関わる専門領域において、広範な生活文化諸領域との総合的・有機的連関のなかで捉える視点と高度な専門知識を有する専門職として、より豊かな暮らしを提案することを目指す。 服飾、家族社会学、建築学に関する専門的な研究課題について、学術的に価値のある知見に到達し、研究者として社会に貢献することを目指す。

健康栄養学研究科

<健康栄養学専攻>

健康栄養学専攻は、次のような能力、意欲、目的意識などをもつ者を広く受け入れます。

能力	栄養・食の課題の解決に向けて必要な基礎知識及び技能を修得している者。
意欲	食生活に起因する多様な健康課題の解決に向けて、それぞれの視点から研究に取り組もうとする意欲ある者。
目的意識	<ul style="list-style-type: none"> チーム医療の一員として臨床栄養の実践を目指している。 食による疾病の予防や改善の視点をもった製品開発を目指している。 栄養・食の課題の解決に向けて、教育力のある食生活の支援者や栄養教諭を目指している。 高度な専門的知識をもち、子どもたちの発達や学びに貢献できる養護教諭を目指している。

募集内容

1. 募集専攻及び入学定員

人文科学研究科 《人文科学研究科では社会人選抜を実施しています》

- | | | |
|-------------|----|---------------|
| 英 語・英米文学専攻 | 4名 | (内、社会人選抜 若干名) |
| 日本語・日本文学専攻 | 4名 | (内、社会人選抜 若干名) |
| 人間文化学専攻 | 4名 | (内、社会人選抜 若干名) |
| 生活文化デザイン学専攻 | 4名 | (内、社会人選抜 若干名) |

健康栄養学研究科

- | | |
|---------|----|
| 健康栄養学専攻 | 4名 |
|---------|----|

2. 出願資格

次のいずれかに該当する女子

- (1) 学士の学位を有する者、及び2025年3月取得見込の者
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、及び2025年3月修了見込の者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者
(健康栄養学専攻出願の場合は管理栄養士免許あるいは、養護教諭免許を有する者等)

◆人文科学研究科の社会人選抜の出願資格は下記のとおり

社会人経験^{*1}があり、次のいずれかに該当する女子

- (1) 学士の学位を有し、2025年3月末までに大学卒業後2年以上経過している者
- (2) 次の①～③いずれかに該当し、2025年4月1日時点で24才に達している者
 - ①外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - ②文部科学大臣の指定した者
 - ③大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者^{*2}

*1 社会人経験とは就業に限定しません。

*2 社会人選抜志願者は、事前に本学入試広報課まで必ずご連絡ください。志望する専攻の教員との面談の場を設けます。その後、個別の入学資格審査を行います。入学検定料の支払いはこの時点では不要です。

【入学資格審査 提出書類】

1. 入学志願票
2. 最終大学(学校)の卒業証明書
3. 最終大学(学校)の成績証明書
4. 本大学院の定める研究計画書

※提出書類の詳細はP.4をご確認ください。

3. 出願期間及び出願書類送付先

(1) 出願期間

《第1回》 2024年10月4日(金)～10月10日(木) 〈必着〉

《第2回》 2025年2月8日(土)～2月14日(金) 〈必着〉

(2) 出願書類送付先

宮城学院女子大学 入試広報課 宛 〈〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1〉

4. 出願手続

市販の角2封筒に、宛名ラベル(本学ウェブサイトからダウンロード)を貼り、出願書類を入れて入試広報課宛に簡易書留で郵送してください(窓口では取り扱いません)。



出願書類ダウンロードページ https://www.mgu.ac.jp/admission/information/graduate_entrance/

①入学志願票	所定の用紙を本学ウェブサイトからダウンロードし、必要事項をすべて記入すること。所定欄に「収納証明書」を貼付すること。
②写真(縦4cm×横3cm 2枚)	白黒・カラーとも可。出願日前3ヶ月以内に撮影し、正面を向いて上半身無帽のもの。写真裏面に志願専攻名と氏名を記入し、志願票(A票)・写真票(B票)に貼付すること。 試験時間中に眼鏡をかける者は、眼鏡をかけて撮影のこと。
③最終大学(学校)の成績証明書	出願日前3ヶ月以内に作成され、発行元が厳封したもの。
④研究計画書	【人文科学研究科】 所定の用紙を本学ウェブサイトよりダウンロードし、Wordファイルに入力し印刷すること。 【健康栄養学研究科】 所定の用紙を本学ウェブサイトよりダウンロードし、印刷のうえ記入すること。
⑤最終大学(学校)の卒業証明書または卒業見込証明書	卒業見込証明書の場合には、入学時に卒業証明書をあらためて1部提出すること。ただし、宮城学院女子大学を2025年3月卒業見込の者は、入学時に改めて提出する必要はない。
⑥外国人の場合に提出する書類(外国籍者のみ)	ア. 国内居住者……在留カードの写し イ. 国外居住者……身分証明書(当該外国公館または当該外国政府機関発行の身分を証明する文書) ^{※1}
⑦卒業論文の写し	学部卒業時に卒業論文を提出した方はその写しを提出すること。(表紙をつけること)。 健康栄養学専攻志願者は概要書のみ(A4一枚程度)。

※1 国外居住者については、入学後にあらためて在留カードの写しを提出すること。

なお、外国人の方は、入学後他の学生と同じ条件で所定の課程を修めるものとします。従って、講義等を理解することのできる日本語能力を十分身につけている必要があります。

◆人文科学研究科社会人選抜で入学資格審査に通過された方は①～⑤の再提出は不要ですが、入学検定料を支払い、「収納証明書」を長3封筒に入れ出願期間内に提出をしてください。また、⑦を提出する場合は、出願用の宛名ラベルを角2封筒に貼付し、その中に封入して出願期間内に提出してください。

【出願上の注意】

- 出願前には、必ず、志望する指導教員の研究室訪問やオンラインによる事前相談を行い、大学院における教育内容・研究内容などの情報を得てから出願するようにしてください。
- 本学に入学を志願する方で、身体に障がいがあり、受験上及び修学上の特別な配慮(拡大文字・面接時の配慮等)を希望する場合は、あらかじめ出願前に本学入試広報課に連絡し、相談をしてください。

5. 入学検定料 30,000円

【取扱期間】 《第1回》 2024年9月27日(金)～10月10日(木)

《第2回》 2025年2月11日(土)～2月14日(金)

入学検定料は、クレジットカード決済または全国のセブンイレブン・ローソン・ミニストップ・ファミリーマートから24時間納入可能です。納入方法は、P.8「検定料払い込み方法」およびP.9「E-支払いサービス利用方法」を必ずご確認ください。支払い後に発行される「入学検定料・選考料取扱明細書」内の「収納証明書」を切り取って入学志願票の所定欄に貼付し、提出してください。

※いったん納入された検定料および提出された書類は、事由のいかんに関わらず返還しません。

6. 試験内容及び試験時間

〈人文科学研究科〉

専攻	試験科目	試験時間
英語・英米文学専攻	専門科目（英語学・英米文学・英米文化のうち1科目選択）	100分
	外国語（英語）	100分 （社会人選抜 50分）
	研究計画に係る口述試験	
日本語・日本文学専攻	専門科目（専門概説 方法論・文学史）	100分
	外国語（英語）※	50分
	研究計画に係る口述試験	
人間文化学専攻	専門科目（小論文）	100分
	外国語（英語）※	50分
	研究計画に係る口述試験	
生活文化デザイン学専攻	専門科目（小論文）	100分
	外国語（英語）※	50分
	研究計画に係る口述試験	

※社会人選抜の場合、「外国語（英語）」筆記試験は課さない。

- (注 1) 英語・英米文学専攻の社会人選抜者の試験科目は「外国語（英語）」（試験時間は50分で英文解釈のみ）と「研究計画に係る口述試験」の2科目となります。
- (注 2) 本学英文学科在学生在が英語・英米文学専攻を志願する場合、3年次開設の専門科目の平均点が80点以上であれば、専門科目（英語学・英米文学・英米文化）の受験を免除します。
本学英文学科の過年度卒業生の場合、3年次及び4年次の専門科目の平均点が80点以上であれば、専門科目の受験を免除します。
希望者は、教務課にその旨を申し出て平均点を書き添えた成績証明書を提出してください。
- (注 3) 各専攻の外国語（英語）試験には、辞書の持込みを許可します（電子辞書は不可）。
但し、英和辞典一冊とします。

〈健康栄養学研究科〉

専攻	試験科目	試験時間
健康栄養学専攻	専門科目（2科目選択）	120分
	外国語（英語）	50分

- (注 1) 健康栄養学専攻の専門試験については、「臨床栄養学」、「基礎・応用栄養学」、「学校保健」、「臨床医学」、「教育心理学」、「栄養教育論」、「給食経営管理論」より2科目選択とします。
なお現職者※は、専門科目、外国語(英語)の中から1科目を研究計画に関する「小論文」(60分)に代えることができます。(下記◆現職者の科目選択例参照)
※ここでいう「現職者」とは、受験の時点において、養護教諭（健康教育に携わっている教諭を含む）、栄養教諭もしくは栄養士・管理栄養士（企業等の食教育担当者を含む）として勤務されている方を指します。なお、受験時に勤務していなくても、1年以上の勤務経験があれば現職者に含めます。

◆現職者の科目選択例

【例 1】一般の受験者と同じ場合の受験科目：外国語(英語)・専門科目・専門科目

【例 2】「専門試験」を「小論文」に代える場合の受験科目：外国語(英語)・小論文・専門科目

【例 3】「英語」を「小論文」に代える場合の受験科目：小論文・専門科目・専門科目
※外国語(英語)の試験時間に小論文を解答します

- (注 2) 外国語（英語）試験には、辞書の持込みを許可します(電子辞書は不可)。
但し、英和辞典一冊とします。
- (注 3) 健康栄養学専攻は、試験終了後に面接を行います。

7. 試験日時

《第1回》 2024年10月19日(土)

《第2回》 2025年2月26日(水)

受付時間 8時50分～9時20分

試験時間 9時30分～15時00分(昼休み時間を除く)

8. 試験場

本学 〈〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1〉

9. 合格発表

《第1回》 2024年10月23日(水) 12:00 予定

《第2回》 2025年3月1日(土) 12:00 予定

合格者の発表は、本学構内に掲示をします。電話による問い合わせには一切応じられません。

10. 合格通知

合格者には、発表日当日に「合格通知書」及び「入学手続要項」を発送します。

11. 入学手続

《第1回》 入学金の納付 2024年10月25日(金)～11月1日(金)

その他入学時納付金の納付 2025年3月3日(月)～3月10日(月)

《第2回》 入学時納付金一括納付 2025年3月3日(月)～3月10日(月)

合格者は「入学手続要項」を確認のうえ、上記手続期間内に所定の手続を完了してください。

入学手続を完了した後で入学辞退を希望する場合は、入学金を除く納付金を「入学辞退願書・授業料等返還願書」の申請にもとづき返還します。

なお、申請期限は 2025年3月31日(月)までとします。

12. 入学金及び授業料等

[参考] 2025年度は未定ですが、2024年度入学生の初年度納付金は下表のとおりです。

(単位：円)

科 目	英語・英米文学専攻		日本語・日本文学専攻		人間文化学専攻		生活文化デザイン学専攻		健康栄養学専攻		
	入学時 納付金	後 期 納付金	入学時 納付金	後 期 納付金	入学時 納付金	後 期 納付金	入学時 納付金	後 期 納付金	入学時 納付金	後 期 納付金	
学校 納付金	入 学 金 (一 般)	100,000		100,000		100,000		100,000		100,000	
	入 学 金 (本 学 卒 業 生)	50,000		50,000		50,000		50,000		50,000	
	授 業 料	259,500	259,500	259,500	259,500	259,500	259,500	313,000	313,000	327,500	327,500
	施 設 設 備 資 金	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	69,500	69,500	70,000	70,000
	循 環 器 等 検 査 料	3,640		3,640		3,640		3,640		3,640	
	小 計 (一 般)	423,140	319,500	423,140	319,500	423,140	319,500	486,140	382,500	501,140	397,500
	小 計 (本 学 卒 業 生)	373,140	319,500	373,140	319,500	373,140	319,500	436,140	382,500	451,140	397,500
そ の 他 納 付 金	大 学 後 援 会 費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	学 会 費	2,500		3,000				1,500			
	学 生 災 害 掛 金	1,750		1,750		1,750		1,750		1,750	
	小 計	9,250	5,000	9,750	5,000	6,750	5,000	8,250	5,000	6,750	5,000
合 計 (一 般)	432,390	324,500	432,890	324,500	429,890	324,500	494,390	387,500	507,890	402,500	
合 計 (本 学 卒 業 生)	382,390	324,500	382,890	324,500	379,890	324,500	444,390	387,500	457,890	402,500	

注 宮城学院女子大学を卒業した者及び2025年3月卒業見込の者については、入学金を半額免除します。

13. 受験時特別配慮について

本学に入学を志願する方で、身体の障がいや疾病その他の理由により、受験上の特別な配慮を必要とする場合は、出願前に必ず入試広報課にご相談ください。ただし、希望の特別措置すべてに対応できるとは限りません。申請にあたって本学のキャンパス見学を希望する場合はご相談ください。

14. その他

授業時間内に未就園児の託児を希望する方は、入学手続き後に本学庶務課までご相談ください。

宮城学院女子大学 庶務課 (TEL: 022-279-4698)

E-支払いサービス利用方法

① 「大学・短大」を選択

「e-shihara.net」 Payment on the Web
E-支払いサービス

受験料等のお支払いは、
24時間土日祝もコンビニ・カードで簡単に!

利用ガイド | 申込内容照会 | よくある質問

お知らせ
ご利用前に必ずご確認ください。メンテナンス時にはご不便をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。
e-支払いサイト 検証システムです。
検定料等のお支払いは出来ませんのでご注意ください。
*** 提出書類に取納証明書を貼る際のご注意 ***
ご使用いただく際の注意書きに、【印刷紙にご使用になると変色します】等と記載されている場合は、ご使用にならないでください。取納証明書が黒く変色する恐れがあります。

お支払い お支払い先を選択してください。

受験料・選考料のお支払い

- 大学・短大
- 大学院
- 専門学校
- 小・中・高校・附属学校

② 大学名を検索・選択

受験料・選考料 大学・短大

申込内容照会 | よくある質問

学校選択 学校を検索して、学校名をクリックしてください。

学校名を全角 カタカナ 5文字以内で入力、「検索」ボタンを押して下さい。
または、「全ての学校を表示する」ボタンを押して下さい。

ミヤギ 検索 全ての学校を表示する

利用可能な支払い窓口 →
● 利用可能、- 利用不可能

申し込みをする学校の
学校名をクリックしてください。

宮城学院女子大学	●	-	-	○	-
----------	---	---	---	---	---

③ 個人情報の取り扱いを確認

※「証明書を発行する」ボタンが表示されるのは、お支払い完了後に支払い窓口機関から当サービスへ納入完了通知が届いてからになり、時間がかかる場合があります。あらかじめご了承ください。

利用規約および個人情報の取り扱いについて
下の「必ずクリックして、お読みください」ボタンをクリックして、利用規約および個人情報の取り扱いについての説明をお読みください。

必ずクリックして、お読みください。
(「利用規約および個人情報の取り扱い」を表示する)

お読みになり、内容に同意する場合は「同意する」ボタンを、同意しない場合は「同意しない」ボタンをクリックしてください。

※「同意しない」ボタンをクリックした場合は、サービスを利用できません。ご了承ください。

同意する

同意しない(戻る)

④ 受験料・選考料を選択

受験料・選考料 大学・短大

申込内容照会 | よくある質問

カテゴリ選択 ご希望の内容を選択してください。

宮城学院女子大学

支払期間内の試験のみ選択肢として表示されます。お申込みをご希望の選択肢が表示されない場合は、入試要項等で支払い期間をご確認ください。

赤い矢印が指しているところを選択してください。

第一選択
[その他 ▼]

第二選択
[特別入試等 ▼]

第三選択
[次の第四選択へ進んでください ▼]

第四選択
[受験料 30,000円 ▼]

第一選択：その他
第二選択：特別入試等
第四選択：受験料 30,000円

長期履修学生制度について

1. 制度の概要

大学院修士課程の入学から修了までの標準修業年限は、2年と本学大学院学則で定められていますが、職業を有している等の理由で、標準修業年限を超えて一定の期間（在学年数は、4年を超えることができません）にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合は、長期履修学生として申請することができます。

長期履修を選択すると修了年限が3年または4年になります。なお、許可された長期履修期間は、在学途中で1回に限り、短縮または延長することができます。ただし、短縮する場合の修業年限は3年を下回ることはできません。

2. 対象

職業を有している等の事情により長期履修学生として申請できる者は、原則として以下に該当する者としてします。

- (1) 企業等の常勤の職員または自ら事業を行っている者
- (2) 出産・育児・介護等を行う必要がある者
- (3) その他、委員会において適当と認められる者

3. 申請手続き

長期履修学生となることを希望する者は、以下に定める書類を添えて、入学願書提出の時期または入学手続き前の定められた時期*に申請してください。

- (1) 長期履修学生申請書（様式第1号-1）
- (2) 在職証明書または就業が確認できる書類
- (3) その他、長期履修学生制度を申請する理由が確認できる書類

※「入学手続き前の定められた時期」については結果通知に同封する書面にて詳細を通知します。

4. 結果通知について

結果については、決まり次第通知します。

5. 申請書類提出先および問い合わせ先

〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1

宮城学院女子大学 庶務課（TEL：022-279-4698）

◆ 専攻内容 ◆

人文科学研究科

<英語・英米文学専攻>

1995年宮城学院女子大学大学院（修士課程）創設と同時に人文科学研究科の一専攻として設置された本専攻は、本大学院のなかでももっとも伝統ある専攻のひとつです。

本専攻には、英語学、英米文学、英米文化という3つの専門領域があり、それぞれが補完的な役割を果たしています。国際共通語としての英語を学びながら、言語・文学・文化への理解を深めます。

英語学では、統語論・第二言語習得論・英語教育等の分野を通じて英語という言語の特質を探ります。

英米文学では、社会的・歴史的背景と関連させて英米を中心にした英語圏の文学作品を学ぶことによって、英語が生み出してきた文化の本質に迫ります。

英米文化ではさらに対象を広げ、イギリスを中心とするヨーロッパ文化や多様なアメリカ文化の諸相に関しての考察を深めます。

日本語教育学や外国人教員による英語表現・運用能力育成をはかる講義も重要なカリキュラムです。

海外留学を希望する方には、幾つかの留学制度が用意されています。中学校や高等学校の英語教員や研究者等をめざす方だけでなく、しばらく大学を離れていたがもう一度学びたいという方々も大いに歓迎します。

【ディプロマ・ポリシー】 本学ウェブサイトにて確認してください。

【カリキュラム・ポリシー】 本学ウェブサイトにて確認してください。

取得可能な免許・資格

- ・ 中学校教諭専修免許状（英語）
- ・ 高等学校教諭専修免許状（英語）

授業科目、単位数および履修方法

（※2024年度参考）

科 目 名	開設 年次	単 位 数		履 修 方 法
		必修	選択	
英語学特殊講義Ⅰ（統語論・意味論）	1・2		2	英語学特殊講義、英米文学特殊講義、英米文化論特殊講義の中から専門分野とする特殊講義計4単位、専門分野の演習科目計4単位、修士論文演習Ⅰ・Ⅱ計4単位、合計12単位を修得すること。その他の特殊講義・演習から16単位以上を修得し、合わせて28単位以上を修得すること。28単位には、8単位を上限として、他専攻の特殊講義および特殊研究を含めることができる。
英語学特殊講義Ⅱ（統語論・意味論）	1・2		2	
英語学特殊講義Ⅲ（心理言語学）	1・2		2	
英語学特殊講義Ⅳ（心理言語学）	1・2		2	
英語学特殊講義Ⅴ（英語教育）	1・2		2	
英語学特殊講義Ⅵ（英語教育）	1・2		2	
英米文学特殊講義Ⅰ（小説）	1・2		2	
英米文学特殊講義Ⅱ（小説）	1・2		2	

科 目 名	開設 年次	単 位 数		履 修 方 法
		必修	選択	
英米文学特殊講義Ⅲ(戯曲・詩歌)	1・2		2	<p>英語アカデミックライティング I・II、英語コミュニケーション I・II から任意に 4 単位以上を修得し、合計で 32 単位以上を修得すること。</p> <p>1 年次には、英語学、英米文学、英米文化の 2 分野以上を含むように履修すること。研究指導を受けて修士論文を作成し、論文審査及び最終試験に合格すること。</p>
英米文学特殊講義Ⅳ(戯曲・詩歌)	1・2		2	
英米文化論特殊講義Ⅰ(文化論)	1・2		2	
英米文化論特殊講義Ⅱ(文化論)	1・2		2	
英米文化論特殊講義Ⅲ(文化史)	1・2		2	
英米文化論特殊講義Ⅳ(文化史)	1・2		2	
英語学演習Ⅰ(統語論・意味論)	1・2		2	
英語学演習Ⅱ(統語論・意味論)	1・2		2	
英語学演習Ⅲ(心理言語学)	1・2		2	
英語学演習Ⅳ(心理言語学)	1・2		2	
英語学演習Ⅴ(英語教育)	1・2		2	
英語学演習Ⅵ(英語教育)	1・2		2	
英文学演習Ⅰ	1・2		2	
英文学演習Ⅱ	1・2		2	
米文学演習Ⅰ	1・2		2	
米文学演習Ⅱ	1・2		2	
文化論演習Ⅰ	1・2		2	
文化論演習Ⅱ	1・2		2	
文化交流論演習Ⅰ	1・2		2	
文化交流論演習Ⅱ	1・2		2	
英語アカデミックライティングⅠ	1・2		2	
英語アカデミックライティングⅡ	1・2		2	
英語コミュニケーションⅠ	1・2		2	
英語コミュニケーションⅡ	1・2		2	
修士論文演習Ⅰ	2	2		
修士論文演習Ⅱ	2	2		

(注意) 正式なカリキュラムは入学後に大学院要覧を確認してください。

<日本語・日本文学専攻>

現代は交通や情報化の進展によりますます国際化（グローバル化）が進んでいますが、そのような時代だからこそ、むしろ自文化を十分に理解し、それを基盤として海外に発信し交流する能力が求められています。すなわち日本で言えば、日本語や日本文学・日本文化に対する専門知識を有して、国語教育や日本語教育に貢献できる人材、また世界各地での日本への関心に対して豊かな学識で応えられる人材を育成することが、社会的に喫緊の課題となっています。

日本語・日本文学専攻は、そうした社会的要請に対応するため、専門性の高いスタッフによる個別的な指導を中心に据え、各分野との関係を図りながら、一人一人の大学院生の要求に添う専門性の獲得、実践的能力の修得を柔軟に実行している点に大きな特徴があります。

研究指導の他に、大学院生の課程修了後のことを考え、国語教師を目指す学生には教職センターと連携し中学校や高等学校での非常勤講師の職を、また将来日本語教師を目指す学生には日本語学校での非常勤講師として働けるようサポートしています。

このように日本語・日本文学・日本文化・日本語教育のそれぞれの分野について、高度な広い研究・教育を提供できる特徴を活かして、本専攻では専門的な人材を育成し、また幅広く社会に貢献する人材を養成することを目的にしています。

【ディプロマ・ポリシー】 本学ウェブサイトにて確認してください。

【カリキュラム・ポリシー】 本学ウェブサイトにて確認してください。

取得可能な免許・資格

- ・ 中学校教諭専修免許状（国語）
- ・ 高等学校教諭専修免許状（国語）

授業科目、単位数および履修方法

（※2024 年度参考）

科 目 名	開設 年次	単 位 数		履 修 方 法
		必修	選択	
日本語教育学特殊講義Ⅰ	1・2		2	特殊講義、演習から任意に 28 単位以上を修得すること。ただし、その中には特殊講義 4 単位以上、演習 4 単位以上を含むこと。28 単位の内、8 単位を上限として、他専攻の特殊講義及び特殊研究から修得することができる。 2 年次において、修士論文演習Ⅰ・Ⅱを受講して、合計で 32 単位以上を履修すること。 研究指導を受けて修士論文を作成し、論文審査及び最終試験に合格すること。
日本語教育学特殊講義Ⅱ	1・2		2	
日本語学特殊講義Ⅰ	1・2		2	
日本語学特殊講義Ⅱ	1・2		2	
日本古典文学特殊講義Ⅰ	1・2		2	
日本古典文学特殊講義Ⅱ	1・2		2	
日本文化学特殊講義Ⅰ	1・2		2	
日本文化学特殊講義Ⅱ	1・2		2	
日本近代文学特殊講義Ⅰ	1・2		2	
日本近代文学特殊講義Ⅱ	1・2		2	

科 目 名	開設 年次	単 位 数		履 修 方 法
		必修	選択	
中国文学特殊講義Ⅰ	1・2		2	
中国文学特殊講義Ⅱ	1・2		2	
日本語教育学演習Ⅰ	1・2		2	
日本語教育学演習Ⅱ	1・2		2	
日本語学演習Ⅰ	1・2		2	
日本語学演習Ⅱ	1・2		2	
日本古典文学演習Ⅰ	1・2		2	
日本古典文学演習Ⅱ	1・2		2	
日本文化学演習Ⅰ	1・2		2	
日本文化学演習Ⅱ	1・2		2	
日本近代文学演習Ⅰ	1・2		2	
日本近代文学演習Ⅱ	1・2		2	
修士論文演習Ⅰ	2	2		
修士論文演習Ⅱ	2	2		

(注意) 正式なカリキュラムは入学後に大学院要覧を確認してください。

〈人間文化学専攻〉

今日の「時代」や「社会」は錯綜をきわめ、その特質を一言で表現することが困難です。その中での「人間」の営みもまた然りです。いかなる問題も、これを俎上にのせて分析しようとするとき、その歴史的、社会的な網の目を意識せざるを得ません。人々の意思や行為はそうした事情の負荷されたものであることが解ります。従来のカテゴリーに収めることのできない学術分野が要求されているとも言えます。

このような認識のもと、本専攻では、人文科学と社会科学とを前提としつつも、既存の学問の枠組みを越えて、幅広い領域の履修が可能になるよう教育課程が編成されています。〈人間系〉にカテゴライズされる哲学、宗教学、言語学、心理学、〈歴史系〉の西洋史学、東洋史学、日本史学および東西の美術史学、そして、〈社会系〉の領域である社会学、地理学、経済学などの専門性を深めつつ、領域横断的なカリキュラム構成になっています。

本専攻においては、このような、学問的な専門性と領域横断的な学際性とが大きな特徴です。

【ディプロマ・ポリシー】 本学ウェブサイトにて確認してください。

【カリキュラム・ポリシー】 本学ウェブサイトにて確認してください。

取得可能な免許・資格

- ・ 中学校教諭専修免許状 (社会)
- ・ 高等学校教諭専修免許状 (地理歴史)
- ・ 高等学校教諭専修免許状 (公民)

授業科目、単位数および履修方法

(※2024 年度参考)

科 目 名	開設 年次	単 位 数		履 修 方 法
		必修	選択	
総合セミナーⅠ	1	2		<p>総合セミナーⅠ・Ⅱ計4単位、修士論文演習Ⅰ・Ⅱ計4単位及び人間基礎論演習、歴史文化論演習、社会文化論演習のうち専門領域とする演習Ⅰ・Ⅱ計4単位、合計12単位を修得すること。</p> <p>その他の選択科目から任意に20単位以上を修得し、合計で32単位以上を修得すること。選択科目20単位のうち8単位までは他専攻の特殊講義及び特殊研究から履修することができる。</p> <p>研究指導を受けて修士論文を作成し、論文審査及び最終試験に合格すること。</p>
総合セミナーⅡ	1	2		
人間論特殊講義Ⅰ	1・2		2	
人間論特殊講義Ⅱ	1・2		2	
心理学特殊講義Ⅰ	1・2		2	
心理学特殊講義Ⅱ	1・2		2	
美術文化史論特殊講義Ⅰ	1・2		2	
美術文化史論特殊講義Ⅱ	1・2		2	
社会歴史論特殊講義Ⅰ	1・2		2	
社会歴史論特殊講義Ⅱ	1・2		2	
現代社会論特殊講義Ⅰ	1・2		2	
現代社会論特殊講義Ⅱ	1・2		2	
地域文化論特殊講義Ⅰ	1・2		2	
地域文化論特殊講義Ⅱ	1・2		2	
人間基礎論演習Ⅰ	1		2	
人間基礎論演習Ⅱ	1		2	
歴史文化論演習Ⅰ	1		2	
歴史文化論演習Ⅱ	1		2	
社会文化論演習Ⅰ	1		2	
社会文化論演習Ⅱ	1		2	
修士論文演習Ⅰ	2	2		
修士論文演習Ⅱ	2	2		
特殊研究(社会言語学)Ⅰ	1・2		2	
特殊研究(社会言語学)Ⅱ	1・2		2	
特殊研究(史料講読)Ⅰ	1・2		2	
特殊研究(史料講読)Ⅱ	1・2		2	
特殊研究(ヨーロッパ政治史)Ⅰ	1・2		2	
特殊研究(ヨーロッパ政治史)Ⅱ	1・2		2	
特殊研究(宗教学)Ⅰ	1・2		2	
特殊研究(宗教学)Ⅱ	1・2		2	

(注意) 正式なカリキュラムは入学後に大学院要覧を確認してください。

〈生活文化デザイン学専攻〉

社会の国際化、情報化、人口構造の変化など様々な影響から、生活の価値観やライフスタイルが今後ますます多様化していくことが考えられます。生活者が未来において、それぞれの価値観や希望に即した生活を実現するためには、専門的知識・技能を持った人材が、多角的、かつ、個別的な視点から対応していくことが求められています。

本専攻では、そうした社会情勢に応えるため、「生活文化」と「生活環境の構築（デザイン）」の両面から、広く生活に関する研究・指導を行い、社会のニーズに柔軟に対応できる実践的な能力を持った専門家を養成します。以下の二つの領域から関心に応じてカリキュラムを選択し、専門性を深めることができます。

〈生活文化領域〉

家族社会学、住宅文化史、服飾文化史などの観点から、生活文化に対する人文科学・社会科学的な分析を行う専門能力を養成します。

〈生活環境領域〉

住居環境学、建築計画学、建設設計論、被服科学などの観点に基づいて、生活環境を構築するための専門知識と専門技能を養成します。

修了後は、上記のような学習・研究の成果を生かし、一級建築士等建築・インテリア関連の専門職、家庭科教員（専修取得）、公務員（行政職・技術職）等として、社会の第一線で実践的に活躍して欲しいと考えています。

【ディプロマ・ポリシー】

本学ウェブサイトにて確認してください。

【カリキュラム・ポリシー】

本学ウェブにて確認してください。

取得可能な免許・資格

- ・中学校教諭専修免許状（家庭）
- ・高等学校教諭専修免許状（家庭）
- ・一級建築士受験資格（実務経験 1 年）

一級建築士・実務経験 2 年を要する指定科目確認を受けた大学（学校教育法第 83 条）を卒業した者のうち、本大学院においてインターンシップ科目およびインターンシップ関連科目として公益財団法人建築技術教育普及センターに認められた所定科目の単位を修得することにより、建築士試験における実務経験 1 年と算定することができます。

授業科目、単位数および履修方法

（※2024 年度参考）

科 目 名	開設 年次	単 位 数		履 修 方 法
		必修	選択	
生活文化論特殊講義Ⅰa（流通経済学）	1・2		2	生活文化論演習・生活環境論演習の内、各自の専門領域となるもの 4 単位、及び関連する特殊講義 4 単位を必修とし、計 8 単位を修得すること。 修士論文演習を計 4 単位履修すること。 また、その他の特殊講義及び特殊研究から任意に 20 単位以上、合計 32 単位以上を修得すること。その内、8 単位を上限として他専攻の特殊講義及び特殊研究から修得することができる。 研究指導を受けて修士論文を作成し、論文審査及び最終試験に合格すること。
生活文化論特殊講義Ⅰb（流通経済学）	1・2		2	
生活文化論特殊講義Ⅱa（家族社会学）	1・2		2	
生活文化論特殊講義Ⅱb（家族社会学）	1・2		2	
生活文化論特殊講義Ⅲa（住宅文化史）	1・2		2	
生活文化論特殊講義Ⅲb（住宅文化史）	1・2		2	
生活文化論特殊講義Ⅳa（服飾文化史）	1・2		2	
生活文化論特殊講義Ⅳb（服飾文化史）	1・2		2	

科 目 名	開設 年次	単 位 数		履 修 方 法
		必修	選択	
生活環境論特殊講義Ⅰa (被服科学)	1・2		2	注) 建築士試験の大学院における実務経験(国土交通省告示1033号平成20年9月2日)1年を得ることを目指す者はP.18の条件を満たすこと。
生活環境論特殊講義Ⅰb (被服科学)	1・2		2	
生活環境論特殊講義Ⅱa (住居環境学)	1・2		2	
生活環境論特殊講義Ⅱb (住居環境学)	1・2		2	
生活環境論特殊講義Ⅲa (建築計画学)	1・2		2	
生活環境論特殊講義Ⅲb (建築計画学)	1・2		2	
生活環境論特殊講義Ⅳa (建築設計論)	1・2		2	
生活環境論特殊講義Ⅳb (建築設計論)	1・2		2	
生活環境論特殊講義Ⅴa (建築材料論)	1・2		2	
生活環境論特殊講義Ⅴb (建築材料論)	1・2		2	
特殊研究 画像情報分析基礎	1・2		2	
特殊研究 画像情報分析応用	1・2		2	
特殊研究 建築デザイン実務 a	1・2		2	
特殊研究 建築デザイン実務 b	1・2		2	
生活文化論演習Ⅰa	1		2	
生活文化論演習Ⅰb	1		2	
生活文化論演習Ⅱa	1		2	
生活文化論演習Ⅱb	1		2	
生活環境論演習Ⅰa	1		2	
生活環境論演習Ⅰb	1		2	
生活環境論演習Ⅱa	1		2	
生活環境論演習Ⅱb	1		2	
修士論文演習Ⅰ	2	2		
修士論文演習Ⅱ	2	2		

(注意) 正式なカリキュラムは入学後に大学院要覧を確認してください。

—建築士試験の大学院における実務経験について—

建築士法施行規則第 10 条第 1 項第 6 号の国土交通大臣が定める実務のうち、国土交通省告示第 1033 号（平成 20 年 9 月 2 日）による大学院における実務経験については、生活文化デザイン学専攻における下記の科目を履修し単位を修得することにより、実務経験 1 年として算定できます。

内容	基礎資格	本大学院における専門授業科目（学則第 15 条）の中から修得しなければならない必要科目
建築士試験の大学院における実務経験 1 年	一級建築士・実務経験 2 年を要する指定科目確認を受けた大学（学校教育法第 83 条）を必要な単位を修得して卒業していること。	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊研究 建築デザイン実務 a ・特殊研究 建築デザイン実務 b ・生活環境論演習 I a ・生活環境論演習 II a ・生活環境論特殊講義 II a（住居環境学） ・生活環境論特殊講義 III a（建築計画学） ・生活環境論特殊講義 IV a（建築設計論） ・生活環境論特殊講義 V a（建築材料論）

【資格取得の証明】

所定の単位を修得した者には、修了時に本大学院より必要な科目の単位を修得したことを証明する「建築士試験の大学院における実務経験に係る修得単位証明書」を交付します。

日本語教員科目

科 目 名	開設 年次	単 位 数		履 修 方 法
		必修	選択	
日本語教育学 I	1・2		2	
日本語教育学 II	1・2		2	
日本語教授法 I	1・2		2	
日本語教授法 II	1・2		2	
日本語教育実習	2		2	

※日本語教員科目を履修することは可能ですが、日本語教員養成課程は設置していませんのでご注意ください。

（注意）正式なカリキュラムは入学後に大学院要覧を確認してください。

健康栄養学研究科

〈健康栄養学専攻〉

近年、日本では少子高齢化、人々の食習慣の変化、食環境の変化が顕著です。これに伴い食生活を通して生じる健康問題も多岐にわたるようになりました。中高年齢層における生活習慣病の増加、若年齢層の食生活を営む力の低下、幼児・学童における肥満や食物アレルギー、若年女性のやせの問題などはその一例です。本専攻は、このような食生活に起因する多様な健康課題の解決に向けて、生活者の視点と、研究的な視点にたって対処できる人材の養成を図ることを教育目標としています。

本専攻は、生活者としての視点をもちつつ、①医療の場でチーム医療の一員として参画できる臨床栄養専門家、②基礎栄養ひいては生命現象に関する学識と研究的視点を持ち、健康に関する諸問題を解決する能力をもつ人材、③研究的視野をもって食教育に携わり、地域住民もしくは児童・生徒の健康を増進する人材、④小、中、高等学校で研究的視野をもって健康教育を実践し、児童・生徒の健康を推進する人材を養成することを目的としています。

【ディプロマ・ポリシー】 本学ウェブサイトにて確認してください。

【カリキュラム・ポリシー】 本学ウェブサイトにて確認してください。

取得可能な免許・資格

- ・ 養護教諭専修免許状
- ・ 栄養教諭専修免許状

授業科目、単位数および履修方法 (※2024年度参考)

科目区分	科目名	開設年次	単位数		履修方法
			必須	選択	
健康栄養学特殊講義	病態臨床栄養学特殊講義 (基礎：傷病者の栄養アセスメント)	1		2	健康科学基礎講義 2 単位、特殊講義 3 教科 12 単位以上、選択した修士論文に関する演習 2 単位、および総合演習 2 単位、修士論文 6 単位、特別講義 2 科目 4 単位以上、合計 32 単位以上を修得すること。
	病態臨床栄養学特殊講義 (応用：栄養管理の手法)	1		2	
	病態栄養管理学特殊講義 A (基礎：循環器・呼吸器・消化器系疾患、外科疾患等)	1		2	
	病態栄養管理学特殊講義 B (応用：症例検討)	1		2	
	栄養生理学特殊講義 (基礎：食事摂取基準策定の科学的根拠)	1		2	養護教諭(専修免許) 選択者は修得単位の中に健康教育学特殊講義 4 単位ならびに健康教育学演習 2 単位、修士論文(健康教育学) 6 単位を、また、栄養教諭(専修免許) 選択者は修得単位の中に栄養教育論特殊講義 4 単位ならびに栄養教育論演習 2 単位、修士論文(栄養教育論) 6 単位を含んでいなければならない。
	栄養生理学特殊講義 (応用：食品生理活性成分と慢性疾患予防)	1		2	
	分子栄養学特殊講義 (基礎：核内受容体の機能と構造)	1		2	
	分子栄養学特殊講義 (応用：糖質・脂質代謝と遺伝子発現機構)	1		2	
	生体機能調節学特殊講義 (基礎：分子生物学)	1		2	
	生体機能調節学特殊講義 (応用：疾患の分子生物学)	1		2	
	食品科学特殊講義 (基礎：食品物性の基礎理論)	1		2	

科目 区分	科 目 名	開設 年次	単位数		履修方法
			必須	選択	
健康 栄養 学特 殊講 義	食品科学特殊講義 (応用：食品物性の応用展開-文献考察と実験-)	1		2	修士論文に病態臨床栄養学を選択する場合は、実践研究基礎実習A（臨床栄養学）4単位を、栄養教育論選択者は、実践研究基礎実習B（栄養教育論）を、給食経営管理論選択者は実践研究基礎実習C（給食経営管理論）を、健康教育学選択者は、実践研究基礎実習D（健康教育学）を選択しなければならない。ただし、現職養護教諭ならびに現職栄養教諭は実践研究基礎実習4単位分を特殊講義、特別講義で修得することができる。
	栄養教育論特殊講義 (基礎：栄養教育プログラムの考え方)	1		2	
	栄養教育論特殊講義 (応用：アスリートの栄養教育)	1		2	
	給食経営管理論特殊講義 (基礎：給食施設の栄養管理と経営管理)	1		2	
	給食経営管理論特殊講義 (応用：給食経営の資源とマネジメント)	1		2	
	健康教育学特殊講義 (基礎：学校保健の歴史と国際的動向)	1		2	
	健康教育学特殊講義 (応用：保健指導と保健教育のプラン)	1		2	
	健康医学特殊講義 (基礎：ヘルスリテラシー)	1		2	
	健康医学特殊講義 (応用：健康リスクと意思決定支援)	1		2	
	健康心理学特殊講義 (基礎：健康行動と生活習慣)	1		2	
	健康心理学特殊講義 (応用：心理測定と社会調査法)	1		2	
	小児栄養学特殊講義 (基礎：摂食行動の発達と科学的根拠)	1		2	
	小児栄養学特殊講義 (応用：摂食行動の問題点と科学的根拠)	1		2	
	健康 栄養 学演 習	病態臨床栄養学演習	1		
栄養生理学演習		1		2	
生体機能調節学演習		1		2	
栄養教育論演習		1		2	
給食経営管理論演習		1		2	
食品科学演習		1		2	
健康教育学演習		1		2	
健康医学演習		1		2	
健康心理学演習		1		2	
小児栄養学演習		1		2	
総合演習	2	2			

科目 区分	科 目 名	開設 年次	単位数		履 修 方 法
			必須	選択	
健康 栄養学 特別講義	健康科学基礎講義	1	2		
	栄養科学特別講義	2		2	
	栄養免疫学特別講義	2		2	
	栄養疫学特別講義	2		2	
	学校看護学特別講義	2		2	
	臨床心理学特別講義	2		2	
	運動機能科学特別講義	2		2	
	食生態学特別講義	2		2	
実 践 研 究 実 習	実践研究基礎実習 A (臨床栄養学)	1		4	
	実践研究基礎実習 B (栄養教育論)	1		4	
	実践研究基礎実習 C (給食経営管理論)	1		4	
	実践研究基礎実習 D (健康教育学)	1		4	
	実践研究応用実習	1~2		4	
修 士 論 文	修士論文 (病態臨床栄養学)	1~2		6	
	修士論文 (栄養生理学)	1~2		6	
	修士論文 (生体機能調節学)	1~2		6	
	修士論文 (健康教育学)	1~2		6	
	修士論文 (健康医学)	1~2		6	
	修士論文 (健康心理学)	1~2		6	
	修士論文 (食品科学)	1~2		6	
	修士論文 (栄養教育論)	1~2		6	
	修士論文 (給食経営管理論)	1~2		6	
	修士論文 (小児栄養学)	1~2		6	

(注意) 正式なカリキュラムは入学後に大学院要覧を確認してください。

宮城学院 建学の精神と沿革

「開かれた聖書とその上に舞いおる鳩とを宮城野萩の輪が囲む」(The open Bible with a dove in a wreath of bush-clover) 校章が示すごとく、建学の精神は福音主義キリスト教の信仰に基づいた教育を行うことにより、神を中心とした人生観をもって真理を追究し、すべての人と社会に対して愛と奉仕の業を行い、人類の福祉と世界の平和に貢献しうる女性の育成を目的としている。

- 1885年 日本基督一致教会牧師押川方義は、東京で「合衆国改革派教会」宣教師グリーン、モール、ホーイの三人と会見し、仙台に神学校及び女学校設立の必要性を説く。
- 1886年 グリーン、モール、ホーイの三人によるミッション会議により、仙台に神学校及び女学校の設立を決定し、「合衆国改革派教会」外国伝道局に具申。押川方義、モール、ホーイ、プールボー、オールトラによって宮城女学校創立(校長プールボー)。東二番丁51番地田辺繁久別邸において授業を開始。
- 1889年 東三番丁162番地に竣工した新校舎に移転
- 1911年 高等女学校としての認可を受ける
- 1946年 専門学校設置認可(育児科、国語科、外国語(英語)科、音楽科を設置
宮城高等女学校を「宮城学院高等女学校」と改称
- 1947年 宮城学院中学校設置
- 1948年 宮城学院高等学校設置
- 1949年 宮城学院女子大学設置(英文学科、音楽科)
- 1950年 宮城学院女子短期大学設置(家政科、国文科)
- 1956年 短期大学附属幼稚園設置
- 1959年 大学学芸学部家政学科を設置
- 1964年 大学学芸学部日本文学科を設置
- 1980年 東三番丁から現在の青葉区桜ヶ丘九丁目1番1号へ移転
- 1995年 大学学芸学部人間文化学科を設置
大学院人文科学研究科を設置(英語・英米文学専攻、日本語・日本文学専攻)
- 1999年 大学院人文科学研究科人間文化学専攻を設置
- 2000年 大学学芸学部食品栄養学科、生活文化学科、発達臨床学科、国際文化学科を設置
- 2005年 大学院人文科学研究科生活文化デザイン専攻を設置
- 2007年 大学学芸学部心理行動科学科、児童教育学科を設置
- 2008年 大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻を設置
- 2009年 大学学芸学部生活文化学科を生活文化デザイン学科に名称変更
大学院人文科学研究科生活文化デザイン専攻を生活文化デザイン学専攻に名称変更
- 2016年 大学学芸学部10学科から、4学部9学科へと変更
現代ビジネス学部：現代ビジネス学科(新設)
教育学部：教育学科(幼児教育専攻、児童教育専攻、健康教育専攻)
生活科学部：食品栄養学科、生活文化デザイン学科
学芸学部：日本文学科、英文学科、人間文化学科、心理行動科学科、音楽科
宮城学院女子大学附属認定こども園「森のこども園」を設置
- 2019年 大学開学70周年



宮城学院女子大学

入試広報課

〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1

TEL:022-279-5837 FAX:022-279-5978

E-mail:nyushi@mgu.ac.jp <https://www.mgu.ac.jp>